



ヒロシマ・スカラシップ 2025

海外留学奨学金 中村音楽奨学金

公益財団法人ヒロシマ平和創造基金

共催 広島国際文化財団・中国新聞社・中国放送

<海外留学奨学金>

広島県出身者または在住者で、海外で芸術（音楽を除く）を学ぶ人に対しての支給奨学金です。毎年若干名を選出し、規定の奨学金を2年以内の期間支給します。芸術全般にわたり勉学・研究しようとする若い人を対象に学資の一部を援助し、将来の活躍を奨励、期待する目的で1984年広島国際文化財団によって創設。当基金が2012年から事業を引き継ぎ実施しています。

<中村音楽奨学金>

広島県出身者または在住者で、音楽を修学する若い人たちを対象に支給します。修学・研究地は国内外を問いません。毎年若干名を選出し、規定の奨学金を2年以内の期間支給します。中村音楽奨学金は1996年秋に中村清子さん（音楽家の故中村哲二氏夫人）が「郷土の音楽家の育成に役立ててほしい」と広島国際文化財団に託されたご寄付を基に1997年に創設。2012年から当基金が事業を引き継ぎました。

公益財団法人ヒロシマ平和創造基金 一般財団法人広島国際文化財団

一般財団法人広島国際文化財団は、1977年（昭和52年）に「人類最初の原爆の惨禍を体験した広島市民の平和への願いと使命感をさらに高めるとともに、名実ともに国際平和文化都市広島としての都市づくりに寄与すること」を目的として設立されました。

被爆体験の継承と平和創造を目的とした市民の草の根的な活動や企画を助成する「ヒロシマピースグラント」、広島県出身者・在住者で、国内や海外において絵画や音楽など芸術を学ぼうとする若い人を対象に学資を援助する奨学金制度「ヒロシマ・スカラシップ」、5月の「ひろしまフラワーフェスティバル」への助成、10月の国際交流フェスティバル「ぺあせろべ」の開催、国際交流奨励賞の授与など多くの事業を実施しています。また、これまでに、平和の尊さを訴え核のない世界の実現をめざす「ヒロシマ・アピールズポスター」の制作にも取り組んできました。これら6つの事業は、2012年（平成24年）8月6日に公益財団法人の認定を受けたヒロシマ平和創造基金に引き継がれています。2014年（平成26年）にはヒロシマ情報の多言語発信を開始し、現在7つの事業を運営しています。

ヒロシマ平和創造基金と広島国際文化財団はこれからも共に手を携えて平和推進、国際交流、文化向上に貢献する事業を積極的に展開してまいります。

公益財団法人ヒロシマ平和創造基金

〒730-0854 広島市中区土橋町7-1 中国新聞ビル8階

TEL.082-234-0061 FAX.082-295-3728

ホームページ <https://www.hiroshima-pcf.or.jp/>

e-mail hpcf@hiroshima-pcf.or.jp